

## 令和6年度 第2回学校運営協議会 報告

【日 時】 令和6年10月29日（火） 12時40分～15時10分

【会 場】 さいたま市立和土小学校 多目的室

<次 第>

### 1 開会

### 2 給食試食

### 3 校長より

- ・あいさつ
- ・全国学力学習状況調査の結果について
- ・職員の勤務状況について

### 4 代表児童による発表

- ・花笑み教育「世界とつながる」ことについて
- ・花笑み教育「仲間とつながる」ことについて
- ・花笑み教育「地域とつながる」ことについて
- ・花笑み教育「自然とつながる」ことについて

### 5 授業参観

### 6 熟議【和土地域で成長する子どもたち】

- ・児童の発表はとても話の内容がしっかりしていて、よいものだった。国語については、児童が「好き、好きではない」で取り組むものではなく、しっかり取り組むことが基本であってほしい。
- ・学校では、国語科の授業だけでなく、教科横断的な学習にも取り組み、国語力向上を目指している。例えば、生活科のおもちゃを制作の学習を国語科の説明文を書く学習に関連付けて、説明する文章を書く力を高めようとしている。
- ・国語の「読む」「書く」ことは子どもの倫理観を育む上でも大切だと考えている。学校で育てていくこともあると思うが、先生の勤務状況を聞いて驚いている。
- ・学校からも、家庭での会話を大事にするようによびかけている。担任はトラブルがあった際には、児童と一緒に考えるようなスタンスで、児童が自ら問題点に気付くようにしている。丁寧な対応には時間がかかるもので、職員が余裕をもって働けるようにしていきたいと考えている。
- ・授業参観の様子をみて、先生たちは子どもを上手く教えていると感じた。積極的にコミュニケーションをとっていて、授業の雰囲気もとてもよかった。1、2年前より、よくなっている。和土小の人数は少ないが、それを心配なことにするのではなく、強みにできるとよい。今後さらによくするためにも、上手に城南中学校と新和小学校と取り組んでいってほしい。

- ・本が好きでも国語が好きになるとは限らない。「書く」「話す」ことはとても大事なことで、しっかり教えないとその力が育たない。学校で少しずつでも「書く」ことを積み上げる取り組みをしているのは良いと思いうので、今後も継続してほしい。
- ・花笑み教育「世界とつながる」を始めとして、和土小は児童の心を育てる教育を多く取り組んでいてとてもいい。少人数であることは手厚くできる良さもあるので、今後も今の取り組みを進めてほしい。
- ・国語力をつけるのは、高校生になってからでは難しい面がある。本を読むことについても、文章をしっかり捉え、文の前後の関係を考えながら読む人とそうでない人では、つく力が全く変わってくる。授業参観や交流会の様子などから、和土小の子どもはとても素直であると感じた。その素直さが学習に向かう気持ちと上手く噛み合うようにしていくと成果がでると思う。
- ・今後、岩槻高校では「国際教養学科」の設立を進めている。花笑み教育の「世界とつながる」ことについては、交流できることについて考えていきたい。

#### 7 子どもいじめ防止対策委員会（生徒指導主任より）

- ・令和6年度いじめの認知、解消件数の報告、令和6年度の状況についての説明
- ・城南中学校区小・中合同研修会の報告

#### 8 閉会